

(文書処理上の記事)

文書号 問2 第113号

受付昭和 年 月 日

起案昭和7年11月7日

決裁昭和 年 月 日

施行昭和7年 月 2日

内閣官房長官

内閣官房副長官

首席内閣参事官

内閣参事官

内閣事務官

起案者
内閣事務官
電話 215

(件名) 第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の演説中に挿入すべき各省庁関係事項について

標記について、下案により各省庁に照会することとしたい。

案

昭和7年11月20日

内閣

297 B24

各省庁官房文書課長又は総務課長等
別表(一)、(二) (各(各通))

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官

件名(依命通知)

臨時国会が近く召集されますが、この国会において内閣総理大臣が演説を行なうことが予想されますのでその演説中に挿入を希望される貴省庁関係事項がなければ、また、11月24日(土)までに6部、内閣官房内閣参事官室あてに提出願います。

(注) 文書は従書きとすること。

別表 (1)
各省文書課長等

内閣審議室長

内閣調査室長

憲法調査会事務局長

国防会議事務局長

公正取引委員会事務局総務課長

警察庁長官官房総務課長

土地調整委員会事務局総務課長

首都圏整備委員会事務局庶務課長

官内庁長官官房秘書課長

行政管理庁長官官房秘書課長

北海道開発庁庶務課長

防衛庁長官官房総務課長

経済企画庁長官官房秘書課長

科学技術庁長官官房総務課長

裏
面
白
紙

別表 (2)

内閣総理大臣官房

同

同 審議室長

同 公務員制度調査室長

同 広報室長

同

同

同

同 賞勲部長

総理府恩給局長

同 統計局長

同 特別地域連絡局長

中央駐留軍離職者等対策協議会事務局長

社会保障制度審議会事務局長

中央青少年問題協議会事務局長

臨時行政調査会事務局長

日本学術会議事務局長

裏面
白紙

(文書処理上の記事)		文書番号	閣乙 第130号	件数	1
		受付	昭和37年11月26日	校訂	
		起案	昭和37年11月26日		
		決裁 (供覧)	昭和37年11月27日	送	
		施行	昭和 年 月 日		

内閣官房長官 7

内閣官房次官 1

首席内閣参事官

内閣参事官

内閣 3

内閣 係 係 係

電話 373 番

(件名) 第42回国会(臨時会)の内閣総
理大臣の演説中に挿入すべき各省庁
関係事項について
標記について、11月20日各省庁に照
会したところ別紙のとおり回答がありました
ので、供覧いたします。

内 閣

裏面白紙



別紙

総公第126号

昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室
主席内閣参事官 殿

内閣総理大臣官房
公務員制度調査室長

第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の演説中
に挿入すべき各省庁関係事項について(回答)

機密について、別添のとおり、草稿を提出いたしますから、
よろしくお取計らい願います。

総
理
府

裏
面
白
紙

引き上げること

総理大臣演説草稿

公務員制度調査室

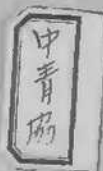
一般職の国家公務員の給与改定に関しては、本年八月に行なわれた人事院勧告どおり、俸給表、期末手当、勤勉手当等の改定を行なうとともに、暫定手当についても昨年十二月に行なわれた人事院勧告どおりこれを改定することとし、また特別職の職員の給与についてもおおむね人事院勧告の趣旨に沿って改定を行なうことといたしました。なお公務員給与の改定は、相当多額の財政支出を伴うものでありますから、本年における財政事情等を考慮して、これを本年十月一日から実施することといたしました。

政府は、この給与改定により、職員が一層職務遂行に専心してその能力を十二分に発揮されることを期待するとともに、行政運営の簡素能率化および厳正な規律の保持について、なお一層その徹底を期し、実効を確保する所存であります。

総
理
府

裏
面
白
紙

わたくしは、最近人づくり、国づくりということを申し上げております。次の世代を担う青少年を健全に育成することは、国家、民族に課せられた崇高な使命であると存ずるものであります。そこで政府としては、青少年対策を政府の重要施策の一として、青少年指導者の養成、健全育成施設の整備、勤労青少年の福祉の増進、社会環境の改善、非行青少年の保護、補導、きょう正に関する機能の整備充実等について積極的な対策を推進して参りたい所存であります。



なかでも、道徳教育の充実と家庭教育の振興とはあらゆる青少年施策の中で最も重視すべき事項でありますので、これについてはとくに努力を傾注し、有為な次代の担い手の育成に万遺憾なきを期したいと存じております。

警察庁丁総発第189号

昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室

首席内閣参事官 殿

警察庁長官官房総務課長

第42回国会（臨時会）における内閣総理大臣の演説

中に挿入すべき事項について

さきに連絡がありましたみだしのことについて、当庁関係
事項は別紙のとおりでありますから、よろしくお取り計らい
願います。

第四十二臨時国会における内閣総理大臣の演説中に挿入すべき事項について

(警察庁)

法秩序の維持こそは、国民生活の安定と発展の基礎をなすものであります。

ここ数年来、政府は、明るい平和な社会の実現を期するため、諸般の施策を強力に推進して相当な効果を収めてきたのであります。しかしながら、最近における交通事故の増加および大都市における交通混雑の激化は、一日も看過することのできない重要な社会問題の一つになっております。また、最近の犯罪情勢をみると特に青少年犯罪ならびに麻薬犯罪の増加の傾向があり、国民の日常生活をおよびやかす暴力犯罪があつてはならないことは、はなはだ遺憾にたえないところであります。

政府としては、このような犯罪を防止し、交通秩序の確立を図るため、政府と国民が一体となつて遵法意識の高揚に努めるとともに、警察力の合理的な増強を行ない、国民の信頼にこたえうる諸施策を推進したいと考えているのであります。

防 衛 庁

防衛庁総務発第248号

37. 11. 24

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

防衛庁長官官房総務課長



第42回国会（臨時会）の内閣総理大臣の演説中に挿
入すべき防衛庁関係事項について

標記について、別紙のとおり提出するので、よ
ろしく取り計らい願います。

防
衛
庁

裏
面
白
紙

(別紙)

第42回国会(臨時会)の内閣総理
大臣の演説中に挿入すべき防衛庁関
係事項について

国際情勢の前途はなお予断を許さない状況に
かんがみ、わが国の安全を保障するため、現行
の安保体制を基調として、国力国情に応じた自
衛力の自主的整備に引き続き努力を払う所存で
あります。

裏面白紙

（一）
才四十二回国会における内閣総理大臣の
演説に織り込むべき事項

経済企画庁

一、当面の経済情勢と経済運営の基本方針

最近の経済動向をみると、卸売物価は引き続き
軟調に推移し、旺盛を極めた設備投資も沈静し、
高水準を続けてきた鉱工業生産も弱含みに転
じ、他方、国際収支も輸出の好調と輸入の低下に
より、著しい改善を見つつあり、外貨準備高は
一八億ドル（十月末）に回復した。このように、政府が
昨秋末実施して来た景気調整策は所期の効
果を達成したと考えられるので、先般末引締めの方
和等の措置を講じて来たが、今後の経済の推移を
考えると、個人消費および財政支出は一応増加が
見込まれるものの、民間の設備投資意欲には著し
く萎縮した局面もみられる。在庫投資も増大
するとは考えられず、このまま推移すれば、経済

成長率はかなり低い水準にとどまることか予想される。したがって、この際は従来から懸念されてきた公共投資の遅れを取り戻し、各種のひずみの解消をはかる好機と考えられ、政府としては、輸出の振興はもとより、電力、海運、都市交通、道路、住宅等の拡充、中小企業への育成に重点を置き、財政金融政策においても十分配慮し、国際収支の均衡となり、正字な経済成長の実現をはかつてまい、考えである。

二、自由化の推進と産業の体質改善

わが国は十月から八八%の自由化を実現した。これが今回の訪欧に当って、西欧諸国がわが国の多年の宿願である対日差別待遇の撤廃に極めて好意ある態度を示したことによつて力があったと考えられるが、その結果、わが国と西欧諸国との間に相互の貿易関係に向つて大きく前進する基

礎が築かれたことほすことにたゞに居ない。しかし
なごら世界経済の動向は欧州経済共同体の進展
英国のこれへの加入、米国の通商拡大法の成立等う
動きにみられるように、一層自由な経済交流に向つて
前進をつづけており、さらに関税の一括引下げが
許題となつてゐる状況である。このような世界経済
の動向に即応して行くためにはわが国としては複
極化に経済交流を拡大し自由化の一層の促進に
に努めるとともにわが国の産業の体質を改善さ
し国際競争力を強化して行くことが所要であり
政府民間相携えてその実現にあらゆる努力を傾
注してまいりたい。

三、消費者物価について

最近の消費者物価の動きにはややさうさ着きか認
められる。このため私鉄運賃、東北電力料金、消費者
米価についてその値上げを認めることとしたがこれらは

（次）

いすれも従来から輸入安不となつていたものをやむを
えなくと認められ、範囲内で必要最小限度の
値上げを認めることにしたものであつて、こゝらの
値上げが他の諸物価の値上げを誘引することと
極力防止するよう努めることはもとより、今後
長期的に物価の安定を實現できるように一層努
めてまいりたい。

37総議第522号
昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

科学技術庁長官官房総務課長

第42回国会（臨時会）の内閣総理大臣の演
説中に挿入すべき各省庁関係事項について
（回答）

昭和37年11月20日付内閣閣乙第113号をもつてご照
会のあつた標記の件について、別添のとおり提出しますのでよ
ろしくお取り計ひ方願います。

科学技術庁



裏面白紙

内閣府大臣の施政演説に就いての事項

一方において貿易自由化を達成し、他方においては互に諸国をはじめ諸外国と経済協力を推進して豊かな国民生活を築き上げなければならぬわが国にとつて、今や科学技術の顕著な振興を図ることが無量の急務であり、そのために必要な振興対策を果敢に実施しなければならぬと痛感するものであります。

これがため、政府といたしましても国家技術の開発を促進するため、発明奨励の活性化及び国民に対する科学技術情報の普及啓発の徹底を図る体制を整え、国立試験研究機関のあり方を再検討し、新しい時代に即応した体制を整えるため研究者の養成及び処遇改善、国立研究機関の集移転の促進等研究体制の抜本的な整備強化を推進したいと考えてあります。また、新しい国づくりの一環として、国土の保全に資するため、防災科学技術の強力な振興を図る方途を講ずる一方、国民の生活環境を改善整備するための環境科学技術や急速に発展をとげつつある宇宙科学技術、原子力平和利用等の重要総合研究につ

いても積極的に推進してまいり所存であります。

裏面白紙

法務省秘庶第二九七号

昭和三十七年十一月二十四日

法務大臣官房秘書課長 勝 尾 録 三

内閣官房内閣参事官室

首席内閣参事官 殿

第四十二回臨時国会の内閣総理大臣の演説中に
挿入すべき各省庁関係事項について（回答）

標記の件に関する当省の希望事項六部別紙のとおり提出します。

法務

第四十二臨時国会における總理大臣
施政方針演説に盛り込むべき事項

(法秩序の維持)

およそ國民の福祉と國家の繁榮は、法秩序の維持を前提とする自由の保障と民主主義の発展をとおしてはじめてこれを期待し得るものと考えらる。しこうして、法秩序の維持は、國民各人の間に真に法律を尊重し、法律に従つて行動するという道法意識が確立されることによつてこれを望み得るものと信ずる。しかるに、今日なお法秩序を無視する事案がその勝を絶たないことは憂慮に堪えないところである。

この際、政府としては、法秩序の維持につき各方面にわたつて必要な措置を講ずるとともに、國民各位に対しても、深い關心と一層の協力を求めて参りたい所存である。

(共産勢力の動向について)

ソ連共産党を主とする國際共産勢力は、依然として、いわゆる「平和的共存」の政策の名のもとに、不斷に革命的國令を推進しているものであつて、自由共産兩陣営の対立はいよいよ深刻なる様相を呈している。

我國内においても、日本共産党は、先の安保条約反対等の大衆闘争の昂揚に乗じて、既成勢力の拡大に努めているがとくに最近においては、官公庁、公共企業体、重要産業内における党組織の非公然

体制の強化に努めるとともに、党勢力増大の成果に乘じ、国際共産主義勢力との強い連繋のもとに革命闘争を進めつつあるのであつて、国際緊張の激化に関連して治安上大いに注意を要するところである。かかる内外情勢のもと、いよいよ国内治安確保の重大性を痛感するものである。

(青少年対策)

次代のわが国を背負う青少年層の顕著な非行化の現象は、まことに憂慮にたえないところである。

政府においては事の重要性にかんがみ、総合的な諸施策を推進しその対策の充実強化に不断の努力をつづけて参つたのであるが、こ

れが根本的な解決は、政府関係諸機関の施策のみで完全になしとげられるものではなく、社会全体の努力を必要とする面が多いので、国民各位の真摯な協力を期待する次第である。

(地方選挙について)

およそ民主主義に基づく政治体制の下においては、中央、地方を通じて、あらゆる種類のすべての選挙が自由かつ公正に行なわれねばならない。毎年数多くの地方選挙が施行されるわが国の実情に徴するとき、これら地方選挙のすべてについて、その公明化を期することとは極めて重要なことと存ずる。明年四月にはいわゆる統一地方選挙の予定されている折でもあり、政府としては、今后、これらの地

方選挙に際し一般と国民各位の政治意識を高揚して違反の防止にとめるとともに、あえて違反を犯す者に対しては厳重な取締を励行し、もつてわが国における民主政治の健全な発展を期したいと考える。

（暴力事犯取締りについて）

およそ暴力の行使は、社会の秩序と市民生活の安全に多大の脅威を与えるものであり、政府は多年その一掃を企圖しているのであるが、今なお、大小各種の暴力事犯の発生を見ていることは遺憾にたえない。政府は、今後とも、この種事犯の取締りに不断の努力を続けるはもちろん、国民道徳の高揚、社会風俗の浄化、勤労意欲の肉

上、経済生活の安定、社会福祉の確立等各種の行政施策によつて、その基盤たる社会的諸要因の除去に努め、もつて、暴力事犯の防あつに万全を期する所存である。

（麻薬対策）

近時麻薬関係事犯は、関係諸機関の努力にもかかわらず、なお減少の傾向を示さないことは、まことに遺憾である。政府においては、本年十月十六日内閣に「麻薬対策関係閣僚会議」を設置し、さらに総理府に「麻薬対策推進本部」を設け、取締の強化をはかるとともに麻薬中毒者対策を充実する等、強力な施策を講じ麻薬犯罪撲滅に万全を期している次第である。

秘

臨時国会池田館理所演説(外交政策)案

(昭三十一、二、三)
外務省

私は去る十一月四日より約二十日間にわたり、ドイツ、フランス、イギリス、ベルギー、イタリア、グアテマカ、オランダの諸国を歴訪し、各国首脳と世界情勢並びにわが国とこれ等諸国が共通の関心を有する諸問題について、懸念のない意見の交換を遂げてまいりました。

私は今回の訪問を通じて、現下の国際情勢に処して、平和を維持しつつ、世界各国の幸福と繁栄を期する上において、わが国とこれ等諸国との間に、政治、経済、文化のあらゆる分野にわたつて、広汎な協力の基盤が存することを見出すとともに、アジアにおける自由陣営の一員としてのわが国の重大な責務をあらため

裏面白紙

外務

て痛感いたしましたのであります。

最近発生いたしましたキューバをめぐる危機は、一時世界の人心を深刻な不安に陥れたのであります。米國が中南米諸國と自由貿易諸國の支持を得て、ソ連と堅固な折衝を重ねる一方、國際連合におけるウ・タント事務局長を始めとする關係者の平和解決のためのたゆまざる尽力の結果、最悪の事態が回避されるに至りましたことは、國際に堪えない次第であります。そもそも今國の危機発生の原因は、キューバに突如として攻撃的兵器が設置され、世界平和維持に不可欠の要件である國際的地衡關係に、新たな脅威が加えられんとしたところに存することは、疑を容れないところであります。幸にして、今回これ等の攻撃的兵器を撤去

することについて、米ソ間に合意が成立し、戦争発生の危機が回避されたのであります。私は今回のキューバ危機を契機として、世界各国が早に平和へのアピールに終結することなく、世界平和維持に対する責任の自覚を新たにし、緊張緩和のために、誠意をもつて真に有効にして現実的な方策を実現するよう努力を傾けることが肝要であると存じます。この意味にかきまして、私はわが国が多年にわたつて主張してまいりました、真に信頼し得る被爆国と被爆者との協力が一日も早く締結されることが、このような緊張緩和のための、具体的方策の第一歩をなすものであると信ずるものであります。今回の西欧諸国訪問に際しましても、この点を特に強調いたし、各国首脳の共鳴を得たのであります。

私は世界平和を維持しつつ、人類の繁榮と向上を図るためには、
単に國際緊張の原因を除去するに止らず、狭い國家的利害關係を
越え、あらゆる分野にわたる國際協力が積極的に推進されなけれ
ばならないと信ずるものであります。西欧諸國が強大な經濟共同
体を形成し、更に究極的には政治統合への道を邁進まんとしている
事實は、注目に値するものであります。私は特に欧州經濟共同体
とわが國との今後の經濟關係の發展を監視するものでありまして、
今回の西歐諸國首腦者との会談におきまして、この点について
懸念のない意見の交換を行なつたのであります。その結果私は、
欧州經濟共同体は単に域内諸國の利害關係の調整に止らず、広く
眼を外に向け、國際的連帶關係の基礎の上に立つて、その經濟的

発展を図るとの基本方針をとつてゐることを確め得たのであります。特にこれ等諸国はアジアにおける先進工業国であるわが国との貿易を関係を発展させることの重要性を認識していることを、確認することが出来たことは、私の最も心強く感ずるところであります。またこの機会に各国首脳者との間に、わが国とこれら諸国との間の通商上の問題を除去する問題についても、原則的に意見の一致を見ることが出来たのであります。特に今回の英蘭訪問に際して、多年の懸案でありました日英通商航海条約の署名を見るに至りましたことは、今後の日英両国間の経済関係の進展を約束するものであるのみならず、英蘭以外の諸国との通商関係にも新しい展開の可能性を与えるものでありまして、真に意義

悪いものがあるのであります。

しかしながら国際間の経済関係は他の分野におけると同様、一國が一方的な道を進むことは許されないものでありまして、あくまで相互協力と互恵の原則に立つてのみ発展を期待し得るものであることは申すまでもないところであります。わが國と西欧諸國との今後の経済関係の発展を図る上にかきましても、右の事実を明確に認識し、西欧諸國の残存する日本に対する輸入制限措置の除去に今後引續いて努力するとともに、わが國は更に貿易の自由化を促進し、秩序ある輸出体制の整備確立、並びに人的交流による相互理解の増進に一層の努力を傾ける必要を痛感するものであります。

わが国の経済発展にとつて、西欧諸国とともに、米國との關係が最も重要視されなければならないことは、今更申すまでもないところであります。本月上旬ワシントンにおいて行なわれた第二回の日米貿易経済合同委員会におきまして、日米兩國間の経済關係のより緊密な発展について關意のない討論が行なわれ、その討論を通じ、今後日米兩國と欧州経済共同体とが相互に協力して経済的繁榮を圖るとともに、アジア・アフリカの発展途上にある諸國に対する経済協力を一層強化することが確認されましたことは、日米兩國の経済協力の将来にとつてはもとより広く世界経済の発展に貢献するものであると信ずるのであります。

私は、以上のべましたように、國際政治並びに經濟上における

わが國の責任と役割が益々重きを加ふるに至りました。今日において、わが國の最も近い隣邦である韓国との国交が、未だに開かれていないことは真に不自然かつ不幸なことであると申さざるを得ないのであります。幸にして去る八月日韓兩國の交渉が再開されました。以来、兩國間に解決を要する諸問題について鋭意折衝を続けました結果、兩國それぞれの立場についての相互理解を一層深めることが出来たのであります。私は日韓兩國の国交正常化は、わが國民の大多数の希望するところであると信じて疑わないものであります。最近日韓兩國双方の朝野において、兩國の国交正常化を早期に達成するための機運が著しく盛り上つておりますことは、誠に結構なことでありまして、私はこの機運を背景として、

並やかに國民の納得し得る内容をもつて交渉が要請するより更に
新設の勢力をつくす所存であります。

(大蔵省)

第四回国会(臨時会)における総理大臣の演説に
織り込むべき事項

(租税について)

一、戦後、国民の税負担の軽減については、国の重要な施策として、毎年実施してきたことは御承知のとおりであります。特に昭和三十六年度及び昭和三十七年度の両年度にわたっては、税体系の整備の観点から、国税、地方税を通じ、三、一〇億円に及ぶ減税を実施いたしました。これによって各税間の負担のバランスも相当程度まで改善せられたのであります。今後におきましても、国民生活水準の向上や国民経済の発展に資するため、財源とにうみ合わせつつ、税負担の軽減に努めたいと考える次第であります。

二、来年度の税制改正については、目下慎重に検討中であります。かりに減税を実施するとしても、来年度の財源の見通しから申しまして、従来のような大巾な減税とすることは

できないと考えるのでありまして、したがって、減税を実施するとすればその重点をいかなければならぬのであります。

現在考慮してふります重点といたしましては、第一は、最近の経済情勢からみて、中小所得者の税負担について調整的な措置と講ずることであり、第二は、当面の経済政策的な要請、すなわち、道路建設などの社会資本の充実、自由化と控えた産業基盤の強化、中小企業の振興、貯蓄の奨励、貿易の振興等の諸施策の遂行に即応する税制措置と講ずることであります。

これらの諸点につきまして今後慎重に検討したうえで、結論を得たいと考えるのであります。

(国内金融について)

昨年九月、国際収支の改善と目途とする一連の金融引締めの施策が講ぜられました。近時、その実効と収めるに至ったため、日銀公定歩合の引下げ等を中心として金融引締めは逐次緩和されつつあるのであります。

政府としては、この間、国内均衡の問題をも加味しつつ、調整過程を円滑に収束せしめるため、中小企業に対する財政資金の追加、電力向け資金の投入など、適時適切な措置を講じて参ったのでありますが、その結果、幸いにして従来金融引締時において往々見られがちであつた摩さつが極めて軽微に留つたのは喜ぶべきことであると存する次第であります。

今後とも国際収支の推移を見守りつつ、景気調整過程の円滑な収束と経済の安定的発展のため所要の施策を講じて参る所存であります。

(国際金融について)

私の訪欧を機会に、我が国が日英友好通商航海条約の締結によつて、英国と新しい友好関係に入つたこと、わが国と欧州共同市場加盟諸国との間に存在する各種の懸案事項につきその友好的解決の緒口が見出されるに至つたことは、まことに喜ばしいことでありまして、今回の訪欧の意義は誠に重大であつたと思つております。わが国としましては、今後先

申し述べた如き新し世界経済の動向に對して、今後一層
 國際的視野に立つて、國際收支の長期的安定と、わが國經濟
 の成長を図り、これを通じてわが國經濟全般の體質的改善
 を促進し、変動する國際經濟の動向に十分對処しうる經濟
 体制を整備することが緊要であると思つております。又こ
 れと共に、國際的な貿易及び為替の自由化の發展に即応し、
 わが國と致しましても、今後その事情の許す限り一層の促
 進を図ることが必要であることは申すまでもありません。

これを要するに、わが國は今後自由世界の重要な一員として
 國際經濟全般に亘り益々重要な役割を果すことになるので
 ありますから、國民各位のこの点に関する深い御認識を期待
 するものであります。

(関税について)

大蔵省

関税につきましても、ガットによりて関税の一括引下げによつて、貿易をさうに拡大しようという氣運が強まっております。米國、E.E.C諸國等も積極的にこれに参加することをご予想されております。わが國といたしましては、現在自由化を進めつつある段階であり、種々の問題はありますが、この世界の趨勢に従うことによつて、諸外國の門戸も開放させ貿易の進展に寄与したいと考へております。

なお、ガット二十五条の援用等わが國に対する差別的措置につきては、今回の訪歐を期とし、明確に見透しが、開けたいとは誠に素ばしいのであります。今後、なお引続きその撤廃に努力する所存であります。

総理の所信表明演説に鑑り込むべき事項

(大蔵省)

昭和三十一年度補正予算等について

(1) 一般会計予算の補正は、石炭対策費、公務員等の給与改善費、災害復興関係費及び地方交付税交付金の四項目につき、総額五百四十二億円を追加したものである。

特別会計については、石炭対策の一環として、失業保険特別会計予算の補正を行なったほか、八特別会計につき、給与改善費等に關する所要の補正を行なうとともに、政府関係機関予算についても、東海道幹線増設費につき、日本国有鉄道の子算補正を行なった。

なお、財政投融資計画についても、今回、石炭対策費を中心、百二十億円の運用の追加を行なった。

(2) 政府としては、石炭政策調査団の答申にのっとり今後とも、

大蔵省

大 蔵 省

二

所要の措置を講じていくつもりである。

昭和三十八年度予算について

昭和三十八年度予算の編成については、目下鋭意作業中であるが、従来通り健全均衡財政の方針を堅持しつつ、経費の重点的配分、効率的使用に努め、公共投資、社会保障、文教等諸施策を推進したい。公債発行等特別の財源措置を講ずる考えはない。

裏面白紙

今回、英国をはじめとする欧州諸国が、激動する現下の
国際社会の間において、それぞれ平和と繁栄を求め、国力
充実の力を尽す実状に接し、わたしたちは、深い感銘を受
け、ともに、かねて施政の方針とする新しい国造り推進の
決意を新たにいた次第であります。

なかんづく、これら諸国における国旗や元首に対する
深い尊敬の念、あるいは高い公德心等からは、国造りの
根本たる人造りの緊要なることを痛感するのであります。

わたしたちは、次代にたどり着く青少年を国際社会においても
信頼と尊敬をかうするに足る立派な日本人に育成する
ことを眼目として、文教の刷新と高揚にいよく意
を用いる所存であります。



厚生省閣総第270号

昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

厚生省大臣官房総務課長

第42回国会(臨時会)の内閣総理
大臣の演説中に挿入すべき各省庁関
係事項について(回答)

11月20日内閣閣乙第113号をもつて照会のあつた標記
について別紙のとおり提出するのでよろしくお取り計らい願
いたい。

第四十二回臨時國會における内閣総理大臣の
演説中に挿入すべき事項

社会保障の拡充につきましては、民生安定と國民福祉の向上を期
するため、政府はつとに最大の努力を致しているところでありま
す。近年におけるわが國經濟の急速な成長のかけに取られざる者
のなにより低所得者対策の強化には今後も特に意を用いていかな
ければならないと思つております。当面の問題としまして、米価値上
りによる低所得階層への影響が懸念されておりますが、生活保護
法の改訂につき所要の措置を講ずるほか、これが対策には万全を期
してまいる所存であります。

37総第 3134 号
昭和37年11月26日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

農林大臣官房総務課長

第42回臨時国会の内閣総理大臣の施政方針
演説にもりこむ事項について

さきに依頼のあつた標記のことについて、別紙のとおり
提出いたします。

林

林



337

裏面白紙

総理大臣の施政方針演説にも取り上げられてゐる。

農業については、農産物に対する需要の高度化の一層の深化等の最近における農業の動向にかんがひ、農業生産の面的拡大を推進するとともに、地方農産物をめぐる国際環境の動きからしても、農業の生産性の向上と農業経営の近代化を図り、おおむね金田にわたる農業構造改善事業を強力に展開する等、農業を産業として確立するよう努めてまゐる所存であります。

つぎに林業については、木材需要の増大傾向にみかみ、人工林地の拡大、林道施設の整備等を推進するとともに、頻りにする災害には、治山事業長期計画に即して対応することとし、他方、林業の振興を図るに、林業経営の近代化、林業従事者の所得の向上を図余として、諸般の施策も充実を期し、考えてあります。

また水産業については、資源の維持培養に意を用ひ、環境の改良、漁港の整備等生産基盤を整備し、特に沿岸漁業については、国会において改正された漁業法および水産業

協同組合法に今国会において引き続き御審議願う
沿岸漁業等振興法案を軸としてその構造改善を推進して
まいることを考えております。

最後に、以上の方向は、その施策の一環としてとりあそば
す国会において、継続審議となった地、域の特性に適合した
森林水産行政を強力に推進するための行政機構の整備等
をその主たる内容とする農林省設置法改正案について、早期
にその成立を図つてまいらる所存であります。

通 商 産 業 省

第42回国会（臨時会）の内閣総理大臣
演説に挿入すべき事項

昭和21/1/24

通 商 産 業 省

（対外経済政策の推進）

わが国をめぐり国際経済環境は、大きく変貌しつつありますが、これに対処して、適切な対外経済政策を展開して行くことは、政府における今後の重要な課題であると考えております。

今般、永年の懸案となつておりました日英通商航海条約もようやく締結をみ、今後日英貿易の拡大が期待されるに至つたほか、私の訪欧の際に英国以外の欧州のガット35条援用国もその撤回を約束しましたことは、わが国貿易拡大の見地からまことに喜ばしいことであります。

しかしながら35条援用撤回の代償としてセーフガード、センシティブ・アイテム等により大巾な差別的輸入制限が継続され、わが国の輸出が不当に制限されるこのがないよう今後とも名実ともに各国の差別待遇を撤廃させるため、強力な対外経済交渉を推進して参りたいと存じます。

また、米国の通商拡大法の制定を契機として、関税の一括引下げ問題が提起され、これにより国際貿易の一層の進展が予期され

日本経済新聞 (東京) 1980年10月10日
経済面 六十八頁

分 类 号

(益の策又元、174x)

... 有り得る。この大、上、下、の、三、つ、の、中、に、

種類、ふつうに「ア」の音で表わされ、例として「ア」の音で表わされる。

[illegible]

○半米、全合

、その大で正なるはち、大なるの、英日語令、不該識、中

「この子も、用事来ともいふたの、人の、入刺の、刺さるの、さ

このころから、大遊園地が、おもしろいところを「東洋園

ふきりぬきうるふ

トキ、イ一様で、アトは分り、用意、ともなひたすべし

このころ、破産した人々には、市中大抵は、利権を以て、セトセト

3. 6. 5. 4. 今 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838

そのうち、やがては、そのさうなものを、その特長を、その

。てまじきるべからず 丁ノ巻

下用 一の餅、丁丁 栗、豆 ① 湯大煮 ② 飯、米、大煮

本書「平法題」の一〇「平法題」の二五、平法題の二五

通 商 産 業 省

ておりますが、わが国においてもこのような国際経済の流れに即応して今後とも努力する必要があるものと考えられます。しかしながらかかる問題に対しても、わが国においては、中小企業、雇用問題等の構造的特殊性があることを十分考慮した上で所要の対策を準備して臨むことが肝要であります。

さらに、11月初頭から開催されましたIMFコンサルテーションの結果、IMF側代表団は、わが国が今後国際収支上の理由により、為替制限を存続する必要なしとの意向を持つに至つたようではありますが、政府としては、わが国経済が、所得倍增計画の趣旨に立脚して経済の長期的発展を達成しうるよう、今後の貿易・為替に関する対外経済政策の整備を図つて参りたいと存じます。

裏
面
白
紙

(石炭、非鉄金属対策)

2. 本年4月6日の石炭対策に関する閣議決定に基づいて、総合エネルギー対策については、産炭構造調査会の総合エネルギー部会が発足し、現在審議、検討を進めておりますが、特に雇用問題をはじめとする今後の石炭対策の検討については、石炭飲炭調査団が編成され、5月あまりにわたり、全国各産炭地域の現状をつぶさに調査するとともに、審議検討を重ねて10月13日、今後、石炭飲炭の自立と安定を達成するため政府のとりべき措置について答申が行なわれました。

政府といたしましては、この答申に基づき、今後の石炭対策について石炭対策関係閣僚会議等において検討を加え、とりあえず本国会に補正予算および関連法案を提出することといたしました。今後さらに審議検討を重ねて早急に所要の措置を講じて、その安定を図りたいと思っております。

そのために、第1にとるべき対策は、需要確保対策であります。石炭飲炭の存立の基盤となる需要の確保につきましては、電力、鉄鋼業界等による石炭の長期引取体制の拡充に努めるとともに、石炭の安定的供給を図るため、供給体制の整備を行ない、あわせて石炭流通の共同化、近代化を図ることといたしました。

通 商 産 業 省

第2に、石炭産業の安定を達成するため、その生産体制を確立することが必要であります。

このため、石炭鉱山の高度機械化、近代化を、特に非能率炭鉱の合理化整備に重点をおいて計画的に推進することといたしております。

第3に石炭鉱業の整備に伴う炭鉱離職者については調査団の答申にあります所策の対策を講ずるとともに、特に産炭地域における炭鉱労働者の雇用の安定を図って行く所存であります。

第4に最近特に疲弊している産炭地域の振興につきましては、産炭地域振興事業団による工業用地の造成、産炭地域振興事業資金の貸付け等の機能を拡充するとともに、特に、ばた山処理事業の実施により、地域経済の振興と炭鉱離職者の吸収を図ることといたしました。

なお、このほか、石炭鉱業の生産体制の早急な確立を推進することに伴い被害処理の充実、迅速化を図るとともに、石炭鉱業における新技術の振興および原料炭田の開発等を推進し、早急に石炭鉱業の自立と安定を図るため万全を期する所存であります。

裏
面
白
紙

通 商 産 業 省

また、非鉄金属鉱業につきましては、その多くが国際競争力に乏しく、自由化に当つて適切な対策を確立することは、これを「第二の石炭問題」としないためにも強く奨励されるのであります。このため政府としては、先般の「鉱業審議会」の中間答申の趣旨を尊重して、~~来年度において~~採鉱促進事業団の新設等により、国が行なう地質、鉱床調査体制を充実するとともに、民間採鉱活動に対する助成等を充実し、また、金属鉱業の近代化、需給価格安定対策、離職者対策等を総合的に実施することとしたいと考えます。

官文第1296号

昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室

首席内閣参事官 殿

運輸省大臣官房文書課長

第43回国会(臨時会)の内閣総理大臣
の演説中に挿入すべき事項について

昭和37年11月20日内閣閣乙第113号で依頼のあり
ました標記について、別紙のとおり提出いたします。

裏
面
白
紙

総理大臣の演説中に挿入を希望する事項

- 一、海運につきましては、企業基盤強化対策を推進して、海運の再建に努めたい。
- 二、港湾につきましては、港湾整備五か年計画の早期実施に努めるとともに、全国総合開発計画に伴う工業開発拠点の整備を図りたい。
- 三、陸上交通につきましては、東海道新幹線をはじめとし、幹線の輸送力増強及び近代化を推進するとともに大都市の交通難を解決するため、地下鉄を中心とする都市交通機関の輸送力を大幅に整備増強いたしたい。
- 四、航空につきましては、国際航空事業の充実強化、に努めたい。
- 五、最近において陸、海、空にわたり重大交通事故が発生していることは誠に遺憾である。今後かかる事故の防止のため法令の勵行、施設の改善等万全の措置を講じて参りたい。

第四十二回臨時国会における総理大臣の演説中に挿入すべき事項

(労働省関係)

石炭鉱業調査団の答申によつても明らかのように、石炭鉱業の体質改善は、緊急を要する事態に直面しており、その合理化を進める過程で一部に離職者の発生をみることも止むを得ない実情にある。

従つて、今後の石炭鉱業における雇用安定のための対策については、石炭鉱業調査団の答申を十分尊重し、石炭鉱業に残る労働者に対して、今後これらの人達が安定した労働環境と労働条件のもとで働くことができるよう配慮するとともに、石炭鉱業の合理化に見合つた雇用計画を策定して、合理化により離職を余儀なくされた炭鉱労働者が安定した転換職場に就くことができるよう努力する所存である。

このような観点から、石炭鉱業近代化のための諸施策と相まつて、石炭鉱業の最低賃金制について、さきに行なわれた中央最低賃金審議会の答申によつて措置いたしたい。

炭鉱離職者対策については、政府も卒先して炭鉱離職者の採用に努めるほか、

労働

政府関係事業、政府関係懸賞について、これら離職者の雇用確保措置を講ずることとし、また、従来の諸対策の強化とあわせて、新たに就職促進のための手当の支給、転職訓練の拡充、移転就職者用住宅の大量建設その他の就職促進対策の集中的実施と求職期間中の生活の安定に万全を期する所存である。

このため今国会において関係法律の改正、補正予算措置について御審議いただく考えである。

なお、全額年金等の離職者に対しても、必要な対策を行なうべく目下検討中である。

建設省

建事関第25号

昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

建設大臣官房文書課長

第42回国会（臨時会）の内閣総理
大臣の演説中に挿入すべき事項につ
いて（提出）

昭和37年11月20日付け内閣関乙第113
号で依頼のあつた標記について、別紙のとおり提
出する。

建設

裏面白紙

建設省

治水事業については、治水事業十箇年計画に基づき、国土保全と国民生活の安定を期するためその促進に努めているが、近年における災害発生の際情に堪がみ、既定計画の拡充、大幅繰上げ実施等により一段と事業の推進を図るとともに、災害復旧事業について、その緊要性にかんがみ、早期復旧に遺憾なきを期する所存である。

恩公審議発第 140 号

昭和 37 年 / 1 月 24 日

内閣官房内閣参事官室

首席内閣参事官 殿

総理府恩給局長

第 42 回国会（臨時会）の内閣総理大臣
の演説中に挿入すべき各省庁関係事項につ
いて（回答）

標記の件について御照会のところ、当局においては該当事
項がないものと御了知願いたい。

裏
面
白
紙

総社発第347号

昭和37年11月22日

内閣官房内閣参事官室首席内閣参事官 殿

社会保障制度審議会事務局長

第42回国会（臨時会）の内閣総理大臣の演説
中に挿入すべき各省庁関係事項について

昭和37年11月20日付内閣閣乙第113号をもつて依
頼がありました領記について当局には該当ありません。

総 理 府

裏面白紙

351

行管総第 169 号
昭和37年11月24日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

行政管理庁長官官房総務課長

第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の
演説中に挿入すべき当庁関係事項について
(対: 昭和37年11月20日付内閣閣乙第113号)

標記について、当庁関係事項はありません
ので、命により回答いたします。

タイ用紙

行政 管 理 庁

27.4 Rg 16. 700g (60枚入り)

裏
面
白
紙

総統総第2658号
昭和37年11月26日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

総理府統計局長



第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の演説
中に挿入すべき各省庁関係事項について

昭和37年11月20日内閣訓乙第113号で通知のありま
した標記については、本局は該当事項はありません。

総理府統計局



353

裏
面
白
紙

自治丁文発第230号

昭和37年11月22日

内閣官房内閣参事官室
首席内閣参事官 殿

自治大臣官房文書広報課長

第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の演説

中に挿入すべき自治省関係事項について(回答)

昭和37年11月20日付内閣議乙第113号で依命通知の
あつた標記については該当する事項がありません。

自治省



354

裏面白紙

管管広一 / 293

昭和37年 / 11月26日

内閣官房内閣参事官室

首席内閣参事官 殿

人事院事務総局管理局

参事官 佐藤 準

第42回国会(臨時会)の内閣総理大臣の演説
中に挿入すべき関係事項について(回答)

(対昭和37年 / 11月20日付内閣閣乙第113号)

標記について、当院では該当事項がありません。

以 上



裏
面
白
紙

大 蔵 省

文 秘 第 772 号

昭和 37 年 11 月 26 日

内閣官房内閣参事官

首席内閣参事官 殿

大蔵省大臣官房文書課長

柿 沼 幸 一 郎

第 42 回国会（臨時会）における総理大臣の
演説に織り込むべき事項について

11 月 20 日付内閣閣 2 第 113 号をもつて照会のあつ
た標記事項については別紙のとおり回答します。

なお、補正予算の項目が決定しだい追加補充する予定で
ある。

裏
面
白
紙

